



## 書の大作がずらり。 新春八千代市書道会展



▲多くの人の前で筆を使って言葉や文章を書く席上揮毫。それぞれの文字についての解説もありました

1月18日～20日、市書道会、文化・スポーツ振興財団、市の共催で第20回記念新春八千代市書道会展が勝田台文化センターで行われました。ホールには、29点の大作がずらりと並び、観覧者は背丈よりも大きい作品に圧倒されていました。19日には、県書道協会前会長で市書道会会長を務める岩波白鵬さんの講演会を開催。講演の前に席上揮毫を行い、太い筆を走らせて今年の干支「午」と「馬」を書き上げました。

### ■コミュニティバスの利用人数を調査しています

1月に試行運行の見直しを行い、運賃を値下げし、コースを増やしました。今回の試行運行では3月までの利用人数の目標を設定。達成したコースは本格運行へ移行します。詳細は都市計画課☎483-1151へ。



▲新設した高津コース。市役所市民会館へ5つのコースが乗り入れるようになりました

## ありがとうございました

- 「勝田台中学校の教育振興のために」と同校卒業生の柿崎米雄様から100万円、デジタル顕微鏡1台、バレーボール検定球20個の寄附をいただきました。
- 「社会福祉に役立ててください」と匿名で10万円の寄附をいただきました。

## 募集 菜の花摘み体験の参加者

3月下旬まで、農業交流センターの近くにある農事組合法人島田のビニールハウス内で菜の花摘み体験ができます。▶開園時間 土曜・日曜日、祝日の午前9時～午後3時 ▶料金 詰め放題1袋200円。袋は同法人島田で用意します ▶申し込み 直接、同法人島田☎080-1306-9752の受付用ビニールハウスへ

## 開校30周年を迎えた新木戸小学校で記念行事

1月18日、新木戸小学校で開校30周年を記念して式典とイベントが行われました。開校は昭和59年。東葉高速鉄道が開通した平成8年までの児童数は400人前後でしたが、その後増え続け、平成20年には1,300人を超えました。22年には、みどりが丘小学校と分かれ、現在の児童数は842人となっています。

式典では「新木戸小学校 30歳おめでとう！ プ

レゼン」と題し、6年生の各クラスが30年間の移り変わりや、地域の人や児童全員に聞いたアンケート結果などを発表。この日のために全校児童が振り付けを練習した「世界に一つだけの花」を歌って、30周年を祝いました。記念イベントでは、八千代高校鼓組が迫力ある演奏を披露。子どもたちの記憶に残る30周年記念行事となりました。

■同校のマスコットキャラクターが誕生 6年生の提案で、30周年記念キャラクターを全校児童から募集。投票の結果、6年生の日比杏南さんの作品で、校章のクローバーをモチーフにした「ニッキー」が選ばれました。



▲給食で一番人気のカレーを持つ「ニッキー」



▲各クラスを回って振り付けを教えた6年生がステージの前に立ち、全校児童で歌いました



## リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで。※午後4時～5時は☎483-1151へ

【あげます】▶折りたたみ式ソファベッド ▶キャリーバッグ ▶買い物用カート ▶ひな人形(7段飾り) ▶組み立て式スチールベッド ▶折りたたみ式シングルソファベッド(黒色合成皮革、幅150cm×奥行き60cm)

▶源氏物語(現代語訳、1～10巻、小学館) ▶ガラスケース入りひな人形(三人官女入り、幅66cm×高さ61cm×奥行37cm) ▶アンティーク電気スタンド2台(台が陶器、幅20cm×高さ65cm)

【ゆずります／有料】▶BSアンテナ一式(箱入り、新古品)

【ゆずって／有料】▶バイク用ヘルメット(大人用)

▶電子レンジ ▶2段ベッド

◆市役所1階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また、同センターでは食品の放射性物質検査(予約制)も行っています

## 八千代歌壇

八千代市短歌会選

広報雑誌「下見を兼ねて高津のハツカビシヤの前日準備の撮影に行きました。神社の前に着くと、直径約90センチメートルの的の外枠を、墨で黒く塗っている最中。その隣では、麻糸を水に浸してから燃つて弦を作っていました。的や弓矢は、神事の前に毎年新たに作られます。弓に使われるのは桑の木。まっすぐに育つよう剪定に気を使っているそうです。矢は篠竹を80センチメートルほどに切つて羽の部分に切り込みを入れ、紙製の羽を差し込んで作られます。古くからの習わしを今も受け継ぐ伝統行事。末永く継承されることを願います。

## やちよ川柳

八千代川柳連盟選

誕生日目出たくもなく秋刀魚焼く 上高野 神津真智子  
領海でせめぎ合つてる地下資源 大和田 阿部けいこ  
叱責をいつも笑顔で受け流し 村上 千葉 耀子  
アイロンを余命に掛けて伸ばす 萱田 町 渡辺 昭二  
仲直りしたいが意地がじゃまをする ゆりのき台 仙石 典子  
この一年生きた証しのカレンダー 村上 福田 秀夫  
日を追って増える汚染の処理費用 勝田 台 福島 つぐ  
初句会笑顔持ち寄りボケ防止 八千代台南 菊池ひろ子

選評 一首目、初句のうねりくるの表現が強すぎて手に負えぬと感じましたが挑んでいる気持と下の句のジグザグの言葉に迷いなく一氣にうたつて心持ちが出ていて良い作品になりました。二首目、手袋のような手が一首に暖かさを与え若き日の純粋な自分の心持ちと教会へつづく白い道が与えてくれた真摯なひとときを想い出しています。三首目、上の句の表現のうまさ、読んで目に浮かぶ花柚子の愛らしい動きが心を和ませる。この時期温かな気持で過したい。

あと十歩更なる登りの家路坂老いと病に歩行器頼る (大和田新田) 諏訪 俊一

空澄みて風やわらかな師走の日秋の名残の木々の間歩む (八千代台西) 百瀬水枝子

遅れ咲く花の優しさ隣り家の山茶花あかく庭すみにさく (八千代台西) 吉田 仁子

声かけてゆく (萱田 町) 吉田 仁子

困難に負けぬとう石路の花言葉あざやかな黄わけて身にしむ (八千代台西) 井沢 志麻

「さみのシッポメトロノームみたいだよ」ポストマン犬に (八千代台西) 井沢 志麻

句い立ちくるりと廻り寄り添いし花柚子ふたつ湯舟に浮かぶ (八千代台北) 水野太佳代

手袋のやうなる手にて包みくれし遠き日教会への吹雪の道に (勝田 台) 石垣 玲子

うねりくるさみしさ思う初冬の日風ジグザグと吹きぬけてゆく (緑が丘) 中野八重子

手袋のやうなる手にて包みくれし遠き日教会への吹雪の道に (勝田 台) 石垣 玲子